下妻市民 4万3,011人の予算

平成28年4月1日下妻市常住人口

平成28年度一般会計予算179億3,500万円
特別会計、水道事業会計を含む総額は307億9,851万5千円

平成28年第1回下妻市議会定例会（3月議会）で、下妻市の平成28年度当初予算が決まりました。
一般会計の予算額は179億3,500万円で、前年比5.6%の増。特別会計と水道事業会計を合わせた予算の総額は307億9,851万5千円で、前年比2.9%となっています。
第1回下妻市議会定例会での市長施政方針と第5次下妻市総合計画に基づいた主な予算について紹介します。

■平成28年度当初予算の総括

区分		今年度予算額	前年度予算額	増減率(%)
一般会計(1)		179億3,500万円	169億8,000万円	5.6
特別会計	国民健康保険	65億6,600万円	65億7,000万円	△0.1
	後期高齢者医療	3億6,800万円	3億6,900万円	△0.3
	介護保険	32億7,600万円	32億4,200万円	1.0
	介護サービス事業	870万円	700万円	24.3
	下水道事業	9億7,300万円	10億6,100万円	△8.3
	砂沼サンビーチ	2億円	2億100万円	△0.5
	計(2)	113億9,170万円	114億5,000万円	△0.5
水道事業会計(3)		14億7,181万5千円	14億9,290万円	△1.4
合計(1)＋(2)＋(3)		307億9,851万5千円	299億2,290万円	2.9

平成２８年度市長施政方針

市民が「本当に良いまちになってきた」と実感できるまちづくりを目指して

下妻市長　稲葉　本治

私が市政の舵取りを託されてから、２期６年が経過しようとしていますが、この間、まず第一に市の財政健全化に取り組み、危機的な状況から脱するとともに、災害に強いまちづくりを推進するため、学校、幼稚園、保育園の耐震化とリニューアルを進めてまいりました。その他、下妻ブランドの確立や積極的な企業誘致、砂沼周辺地区の開発、市内インフラ整備などの施策にも取り組んでまいりました。おかげさまで、これら重点施策も順調に進捗し、下妻市が県西地区の雄を目指し、確実に歩んでいるものと考えております。

◆　◆　◆　◆

昨年９月に発生した関東・東北豪雨では、過去に例のない大雨が鬼怒川沿川に降り、本市でも鬼怒川の越水により、約２６０戸の家屋が床上・床下の浸水被害を受けたほか、農作物や農業施設、道路、公共施設などに大きな爪痕を残しました。完全復旧にはまだ時間と費用がかかりますが、市民の皆さまの生活が一刻も早く元通りになりますよう、国・県にも働きかけを行い、全力で復旧に取り組んでまいります。

国土交通省・茨城県においても、平成32年度までに約６００億円を投じ、鬼怒川・八間堀川の整備を計画しており、本市にも近々地元説明会に入る予定です。

◆　◆　◆

人口減少と超高齢化社会といった課題に取り組むべく、政府が打ち出した「地方創生」につきましては、本市でも「下妻市まち・ひと・しごと創生有識者会議」などにおいて検討を重ね、間もなく「下妻市人口ビジョン」ならびに「下妻市総合戦略」が策定となります。今後、総合戦略に掲げた重点施策を積極的に推進し、働きやすい環境づくり、子育てしやすい環境づくりを進め、「住んで良かった」「これからも住み続けたい」と思われるようなまちを、市民の皆さまと共に創り上げてまいりたいと考えております。

その重点施策の一つとして、積極的な企業誘致があげられますが、昨年、つくば下妻第２工業団地の最後の区画で１社が操業を開始しました。これにより、市内の工業団地は全て埋まり、新たな雇用も生まれています。今後は、これまでに誘致した企業へのサポートを続けるとともに、新たな工業用地の確保に向けた取り組みも行ってまいります。

また、昨年９月には、「道の駅しもつま」がリニューアルオープンしました。今回のリニューアルで農産物直売所を本館中心部に移設し、新たに焼き立てパンを販売する「しもんぱん」を展開するなど、これまでの道の駅から一新したことにより、来場者、特にリピーターが増え、大変好評を博しているところです。今後も「道の駅しもつま」や「やすらぎの里しもつま」を、本市の観光・情報発信の拠点として利活用し、積極的な観光客誘致を推進してまいります。

加えて、郊外へ向きがちな人の流れを中心市街地に呼び戻すため、都市再生整備計画事業による砂沼周辺地区の開発も引き続き進めてまいります。

砂沼を眺望できるカフェレストランや屋根付の多目的広場の整備により、本市の観光資源の活用とシティープロモーションを推進し、市民の憩いの場のみならず、安全で安心な場所としても活用してまいります。これら施設の有効利用を図り、市外の方にも本市の良さを知っていただくことで、観光客の誘致ならびに市外からの定住促進も図ってまいりたいと考えております。

さらに、「健幸都市しもつま」づくりのため、これら新たな施設に加え、「砂沼荘」や「筑波サーキット」などを有機的に活用し、砂沼を生かしたウォーキングや自転車による周遊など、本市の住み良さが実感できる環境づくりを進めてまいります。

そして、市民の皆さまが「本当に良いまちになってきた」と実感できるようなまちづくりを、全力で進めてまいります。

（一部抜粋）

平成28年第1回下妻市議会定例会（平成28年3月4日）